



安藤眼科医院

<http://www.andoganka.com>
e-mail:info@andoganka.com

安藤眼科医院/〒258-0003 足柄上郡松田町松田惣領995-1
TEL:0465-83-4545 FAX:0465-82-0981
安藤眼科医院小田原クリニック/〒250-0862 小田原市成田168
TEL:0465-38-0344 FAX:0465-38-2800
安藤眼科医院南足柄クリニック/〒250-0105 南足柄市関本569
TEL:0465-73-1515 FAX:0465-73-8585

Annual Report 2015

医療法人社団 安藤眼科医院

高度な医療 そして やさしい心配り
患者様の明るい世界、輝く笑顔が見たいから成長し続けます



◇安藤眼科医院

〒258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 995-1
Tel:0465-83-4545

◇安藤眼科医院小田原クリニック

〒250-0862 神奈川県小田原市成田 168-5
Tel:0465-38-0344

◇安藤眼科医院南足柄クリニック

〒250-0105 神奈川県南足柄市関本 569 ヴェルミ 2 1F
Tel:0465-73-1515

<http://www.andoganka.com>

info@andoganka.com

目 次

院長挨拶	理事長・院長	安藤 浩	1
バラック眼科センター見学	名 誉 院 長	安藤 展代	2
不惑の年を迎えるにあたって	副 院 長	江口 亮	3
ジム体験記	医 長	石川 暢子	3
厄年！？	医 長	戸野塙敏恵	4
安藤眼科医院の27年を振り返って	看 護 師 長	金田 浩子	5
2015 チャレンジ・イヤー	松田秘書 予約マネージャー	齊藤 明奈	5
ひとみすっきり号と私	小田原レセプトマネージャー補佐	面高美和子	5
患者様との1対1	検 査	玉木 由佳	6
2015年あなたは上着を着ましたか？	検 査	鈴木亜也子	6
2015年の思い出			7
2015年に行われた手術			7
新設器械			8
学会・勉強会			8
学会発表・口演			9
医師会・眼科医会			9
改装・修理・点検			10
ひとみすっきり号（無料送迎車）の動き			11
2015年皆勤賞 無遅刻・無欠勤・無早退の方々です。拍手！			12
入職者 がんばって下さい			12
お誕生おめでとう			12
退職者はありませんでした			12
スタッフ			12
滑り台保存活動の記録	新クリニック設計外伝	安藤 浩	



2016年6月完成予定の安藤眼科医院(松田)

院長挨拶

理事長・院長 安藤 浩



安藤眼科医院のアニュアルレポートをお手に取っていただき、ありがとうございます。

安藤眼科医院は、外来数、手術件数ともに増加し、診察用機器と手術機械を順当に刷新しつつ、無事に2015年をのりきることができました。地域の皆様や医療機関の先生方、医療を取り巻く企業のかたがたのおかげと感謝しております。また、安藤眼科医院の職員たちも、大変熱心に医療を支えてくれました。皆様大変ありがとうございます。今後もより良い医療を目指して努力を続けてまいりますので、変わらぬご支援、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

さて去年の半ばごろ、101歳を迎える方のお誕生日に巡り合い、直接ご本人に「おめでとうございます」と声をかける幸運がありました。いつも周囲の人々を穏やかに観察しながら、しっかりととした口調でこやかに語られる、とても聰明な方です。この時も「ありがとうございます」と返事をされると、楽しそうに体全体で笑っておられました。100年前と現在では、人々の価値観すら変化しています。その中で、現在の穏やかな姿を作られるのに、どのような人生を過ごしていらしたのか、これからさらに変化する世界を、どのような目でご覧になるのか、尋ねてみたいことは山ほどあるのですが、100歳の長距離眼は100年経たないと手に入らないのかもしれません。

考えてみれば、直近の10年单位でも、私たちの生活や考え方はかなり変化しました。統計学の進歩は学術的な物の考え方をあらゆる分野に一般化してきています。手術手技はインターネットの動画から閲覧・学習できるようになりました。私が医学部で学習した、口頭や文書での情報漏洩に対する守秘義務は、いつの間にかコンピュータ内の情報パックや、スマートフォンの雑談を主題とするようになりました。超長距離のテレビ画像が鮮明になったのに驚くのとほぼ同時に、同じ技術を用いてOCT（光干渉断層計）の画像が鮮明になり、網膜疾患の診療が変わりました。

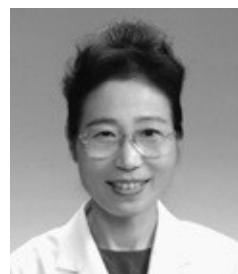
ところで、現在を拡大し、未来を手に入れるためには、変化が必要です。安藤眼科医院は、この度松田のクリニックを拡大するために南へ200m移転し、今年6月にはかなり素敵な建物を完成させる予定です。前のページにその完成予想図を載せました。現在、建物の設計図はほぼ出来上がりつつあります。今設計図を見ながら続く私の考察は、内部の細かな構造についてです。待合室を少しでも快適にするには、どのような配色が良いのか、検査を合理的にするにはどの器械をどこに置いたらよいのか、職員の笑顔を2割増しにするには何を進化させればよいのか、私は直近数か月以内に出来上がり予定の建物に知恵を絞っています。

建物を手に入れ、その中に1年ごとに次々と最新鋭の診療機器を投入し、5年単位で人と組織が成長を続けて、次々と未来を積み上げていけば、楽しそうに組織全体で笑える100年を手に入れられるのかもしれません。

101歳の方の、栄えあるお誕生日をお祝い致します。そして同時に私は、100年後、人工知能とロボットを駆使しながら、誰かが組織する安藤眼科医院が、誰かの明るい未来をさらに作り続けていることを、想像し、期待します。

バラッケ眼科センター見学

名誉院長 安藤 展代



2015年のESCRS（ヨーロッパ白内障・屈折手術学会）は9月上旬バルセロナで開催された。その中の9月7日、ジャメックス細川社長が申込んでくださった、Centro de Oftalmología Barraquerの見学会に10人くらいの先生たちと参加した。Centro de Oftalmología Barraquerは現在88歳になられるDr. Barraquer(今も手術をしている:後述)が開設された眼科病院でバルセロナ市内でほぼ1ブロックに当たる大きさの7階建てのビル全部を使っており、外来、手術はもちろん、検査室、研究室、アイバンクなど通常の大学病院の眼科よりも大きな施設となっている。現在の経営トップは息子さんと娘さんとともにtop surgeonでもあり、その下に13人の眼科医と5人のレジデントがいる。年間の手術件数は水晶体再建術が5000件、レーザーが4000件（これは屈折矯正だけではなく網膜光凝固術その他も含んでいるように感じられた）、その他もちろん硝子体手術、角膜移植などすべての眼科医療を網羅している。

何と言っても見どころは88歳のDr. Barraquerの手術ということだった。案内されたのはガラス張りのドーム状の手術ブースを囲む小部屋だった。これは彼の発案で、昔ビデオが無かった時代に彼が教育用に考案されたものだそうで、大勢が術者を色々な方向から見て勉強できるようになっている。手術着を着たDr. Barraquerがゆるゆると入って来られたが、さすがとてもおじいさんで、グレーの手術着を着た姿はローマ法王みたいに見え、ドームを囲んでいる我々にこやかに手をあげて挨拶される様子は法皇の祝福のように見えた。待っていた看護師が手を取って椅子に座らせ、優しく、優しく丁寧にマスクを着け、手袋もはめてあげた。ストレッチャーに乗せられた患者がすっと顕微鏡の下に来ると、助手が分厚く綴じたカルテを顕微鏡の前に掲げ、法王は声に出してそれを読み上げる。次々とページがめくられるとそれを全部読んで行く。視力、屈折、前眼部所見、眼底所見、眼軸長、内皮、OCT、IOLの計算式はもちろん、視野までを読んで行く。その声はマイクを通して我々にもお祈りのように聞こえてくる。そして患者の眼が顕微鏡の下に現れると、それは既に超音波乳化吸引術が済んでおり、法王はおもむろに前房内に粘弹性物質をいれ、そしておもむろに眼内レンズを入れる。次に粘弹性物質の吸引を2手法で行うのだが、何と吸引ペダルを踏んでいるのは助手のDr.だった。この助手は凄い技術が必要だと皆で感心した。法王の使った手術時間は（カルテの読み上げから）1例20分以上はかかるので、これでは実用的ではないわけだが、法王に手術してもらうにはきっと特別料金が設定されているのだろうから、きっとまだまだ彼は患者と見学者に祝福を与え続けるのだろう。

最近は手術顕微鏡、手術機械が格段に進歩し、毎日の手術でも思わぬトラブルというものが本当に少なくなったと感じているが、同じ理由で術者の高齢化も許されるようになってきたと思う。私もその一人として手術を続けさせていただいているが、何処まで行けるのだろうか？患者さんに迷惑のかからないところを見極めるのはなかなか難しいだろう。しかし、ここでまた、フェムトレーザーを使った水晶体再建術というのがそのうち日本でも広く実用化されるであろうというのが私の楽しみである。もし私がバラッケ先生のように、助手に吸引ペダルを踏んでもらうようになったとしたら、それは今の安藤眼科医院では非効率で許されないと思うが、フェムトレーザーのスイッチを押す係りというはどうだろうか？そのくらいならさせていただけるのではないかと楽しみにしているのである。

不惑の年を迎えるにあたって

副院長 江口 亮



無事に忘年会も終わり、街中にはクリスマスソングが流れ、今朝我が家にはサンタクロースがやってきた。1年が過ぎるのは早いものである。

私は1976年生まれ、すなわち2016年で40歳になる。昔の40歳と現在の40歳とではだいぶ違うような気もするが、孔子の論語の一節から一般に「不惑」と呼ばれる。子(し)曰(いわ)く、吾(われ)、十有五(じゅうご)にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず・・・、私なりの解釈としては、30歳にして一人前になり、それを基礎として40歳になり人生の方向が決まり惑わなくなるということだと思う。

思い返してみると10年前には東京の総合病院で働いておりそれなりに生活も充実していたが、将来のことについてはあまり考えず、というかなぜかあまり考えないようにしていた。今思えばただただ時の流れに身を任せるだけであった。6年前に縁あって小田原に引っ越してきた。それまで小田原には一度も来たことすらなかったが不思議と不安はなかった。若いころは決められた道を決められたようになるべく上手に歩むのに喜びを覚えていたが、年齢とともにだんだんその道中のいろいろな脇道に少しだけ迷いこむことに楽しさを感じるようになってきたと思う。また、自分で家庭を築いてからは自分の人生の行く末とともに子供の成長など自分のこと以外の興味深いことが増えた。

10年というのは長い。10年前の世界を覚えているだろうか。2006年、まだiPhoneはこの世に存在せず、(オーダリングシステムだけではない)電子カルテも先進的な病院が導入している程度でまだ一般的ではなかった。神戸空港や表参道ヒルズがオープン。トリノオリンピックがあり、イナバウワーが話題になった。ホリエモンが逮捕されたいわゆるライブドアショックも10年前。思った以上に大昔に感じる。

では、10年後の未来にはどうなっているだろうか。個人的に一番期待しているのは自動運転車。大資本が参入しているし、いったん普及し始めると携帯電話並みのスピードで普及するよう思う。また、コンピュータの進化により(日常会話程度の)翻訳はおそらくほぼ機械化されているだろう。CMではないが”OK, Google.”で外国人と会話が楽しめるようになると楽しそう。コンピュータの入力方法も現在のようなタイピングではなく音声入力になっているかな、さすがに頭から直接読みとてくれるというのはまだまだ無理だろうけれど。

区切りの良い年なので、10年後の自分の理想の姿をゆっくりと考えてみたい(誰にも言わずに内緒にするけれど)。惑うことはまだまだ多いけれども楽しく充実した1年にしたい。

ジム体験記

医長 石川 暉子



2013年10月からジムに通っている。過去2度の入院と長期臥床生活を経験した結果腰痛もちになり、猫背も気になるようになった。このままでは将来寝たきり高齢者になってしまう(平安時代であれば私はすでに高齢者)という危機感が起きてから大分時間がたっていたが、当時子供が通っていたスイミングスクールのスポーツクラブにあった家族会員という割引制度を利用して体力向上に挑戦してみることにした。夫に相談してみたところ(夫は以前から他のトレーニングジムを定期的に利用している)多くの人は長く続かず会費を

払っているだけになっていたりするけれどやってみたいなら自由に、との返事だった。「あなたも続かないと思う」というニュアンスが含まれる（ように聞こえた）上から目線的発言にかなりむつとして、自分が納得できるまで絶対辞めないと心の中で誓った。

入会時にはトレーニングマシンの使用方法についてジムのトレーナーから講習を受けることになっていた。いくつかのマシンを使ってみると一番軽い荷重（4.5kg）でも動かすのがやっと筋力の弱さに驚いた。一緒にしてくれたトレーナーが見かねてマシンを使わない筋力アップメニューをいくつか教えてくれた。猫背になりやすいので背筋が弱くなっているのだろうと思っていたが意外なことに背筋を鍛えるマシンだけは人並みの荷重で動かすことができた。そのジムにはストレッチ用のマシンが4種類置いてあり、最初の3か月はこれをメインに身体をほぐして徐々に筋力アップしていくことを考え実行に移した。始めはストレッチマシンを使用しただけでも結構汗をかいた。少し負荷を上げると2日後に筋肉痛が起きたので仕事に支障をきたさない程度に調整するのに気をつけた。ジムに通っている人々は年配者が多く、常連さん達は各自の鍛錬に集中している様子で初心者の私でも気兼ねなく通うことができた。入会2か月後に子供がスイミングを辞めて会費が高くなってしまったのは計算外だったが、半年過ぎた頃からひどい筋肉痛を起こさなくなったので負荷を徐々に上げていくとともにランニングマシンを使ったウォーキングをトレーニングメニューに加えた。動きに逆らって歩くのが意外に難しく、子供の頃エスカレーターが苦手だったことを思い出した。それでも続けているうちに傾斜角度と速度を上げても快適に歩くことができるようになり、1年経った頃から1週間空くと何となく体調が悪くなるので自然とジムに足が向くようになった。現在は腰痛からほぼ卒業できた上、冷え性が解消したと感じている。夫の予想を裏切り継続できたこと、体調が良くなったことに大変満足している。今後も継続して健康向上に努めたい。

厄年！？

医長 戸野塚 敏恵



1月：お年玉付き年賀はがき、約250枚あったのに1枚も当たらず。2月：長男、体調を崩し、サッカーの試合欠場。出場できない悔しさから母親に八つ当たり。初めて母に手を擧げる。母茫然。3月：学童の保護者会。クリスマス会のレク係決定。

週末にレク企画会議。4月：PTA広報委員決定。5月：バレエコンクール。想像以上に肝が座った娘たちに驚く母。6月：長女英検受検。娘、超情緒不安定。7月：6年間世話をした金魚2匹他界。8月バレエ発表会。エトワールを務める長女。緊張しすぎて涙が止まらない母。9月：長女修学旅行。日程が1日ずれていたら鬼怒川決壊に巻き込まれていた娘。11月：小さな大会だが長男サッカー準優勝、初MIP賞。12月：次女、バレエオーディション合格。3月の公演まで、毎週日曜日は東京でレッスン。

年始早々の運のなさに始まり、我が家では様々な事件（？）があった1年だった。家族が大病を患うことがなかったことは幸いである。診療においては、PTA広報の会議が不定期に予定され、そのために診療日程変更が必要となることが多々あったが、周囲の温かい協力のもと、無事にお役御免となつた。また、12月には網膜硝子体学会・眼循環学会に参加させていただき、有意義な時間を得ることができた。

2016年はどんな年になるのか。2015年よりは少しでも成長できるよう、この1年の様々な経験を無駄にせず、これから医療・家業に有効に活用してみたいと思うこの頃である。

安藤眼科医院の27年を振り返って

看護師長 金田 浩子



安藤眼科医院開院27周年おめでとうございます。

平成元年（1989年）2月3日、スタッフ9名で船出した当院は、現在では65名の大所帯となりました。当時、手術は週1日2名の患者様の白内障手術を1時間かけて行い、患者様には手術後半日お休みして頂き、仕出し弁当を召し上がって頂いた上でお帰り頂くという手厚い看護をしていました。展代先生の右横で緊張しながら助手をした日々が、懐かしく思い出されます。

幼少の頃から病弱で病院通いが多かった私は、この頃から白衣の天使に憧れ、最短コースで看護師となりました。結婚し専業主婦となってから10年、安藤展代先生とで出会ったことで現場復帰することができました。あれから27年、手術件数は年間2,000件を超え、1日2件だった手術件数は、1日平均20件にまで増えました。神奈川県西部の眼科医療の一角を担う医療機関に勤務することができたことは、看護師として最高の栄誉と思っております。

本年3月末を持ちまして、私は安藤眼科医院を定年退職となります。お世話になりました諸先生方、取引先メーカーの皆様、そしてスタッフの皆様、本当にありがとうございました。皆様方の御多幸を祈願し、私の挨拶とさせて頂きます。27年間本当にありがとうございました。

2015 チャレンジ・イヤー

松田秘書 予約マネージャー 齋藤 明奈



2015年は、いろいろなことに挑戦した1年でした。

春から、秘書業務をやらせて頂くこととなり、予約業務も担当させて頂いているので、私にできるのか不安な気持ちでいっぱいでしたが、先生方、事務部長、スタッフのみなさんのご指導、ご協力のお蔭で、ご迷惑をおかけしながらも、無事にこなすことができました。また、院内新聞『愛 to eye』の立ち上げにも携わらせて頂き、とても貴重な経験をさせて頂くことができました。

私生活では、この夏から『道の駅スタンプラリー』と、『100名城スタンプラリー』を始めました。以前から興味があったフラダンス教室にも短期ですが通うことができました。

こうしていろいろなことに挑戦できたのも、沢山の方々に協力して頂いたお蔭と感謝しております。これからもこの感謝の気持ちを忘れずに、いろいろなことに挑戦して、安藤眼科医院と共に成長していくよう頑張りたいと思います。

ひとみすっきり号と私

小田原レセプトマネージャー補佐 面高 美和子



2015年の私は、レセプト業務や日々の外来業務、患者様送迎車（ひとみすっきり号）の予約管理と慌しく過ごした1年でした。

2014年に2900名近くの患者様にご利用頂いたすっきり号ですが、さらなるスマートな運行と、スタッフ間での運行ルール統一の為、2015年1月からマニュアル作成を始めました。

細かい事を一つずつ確認し、文章にまとめて人に伝えることの難しさを痛感し、自分自身も改めて色々と再確認することが出来ました。また、2015年は前年以上に利用される患者様も増えたため、新しいドライバーさんを1名迎え、4号車として車両を1台増車し、以前より患者様をお待たせすることなくスムーズに運行することができるようになりました。これらのことを通して、ドライバーさんとの連携や患者様への心を込めた対応が、気持ち良く通院して頂ける要素の一つである事を学びました。

ドライバーの田辺さん、中込さん、岩本さん、鈴木さん、引き続き安全運転でよろしくお願ひします。

私は昨年11月末で送迎車の担当を卒業しましたが、今後もこの経験を生かし、2016年も新たな事にチャレンジし、成長していきたいと思います。

患者様との1対1

検査 玉木 由佳



安藤眼科医院には、日々たくさんの患者様が御来院されます。私たち検査員は、限られた時間の中で効率良い検査を求められますが、常に『患者様はお客様』ということを忘れてはいけないと思っています。

毎日、私たちは何人の患者様とお話しているのでしょうか。お名前とお顔が一致する患者様は、残念ながらそう多くはありません。私たち検査員からすると、その方が何十人、何百人の患者様の中のお一人であっても、患者様にとっての私は、その日の検査を担当するたった一人です。患者様お一人お一人と長くお話する時間はなかなかありませんが、目の具合が悪く通院されていらっしゃる患者様に、少しでも気持ち良くお帰り頂くため、患者様の立場になり、検査の最後には“お疲れさまでした、お大事になさって下さい”と笑顔で対応することを心掛けています。

入職してようやく2年、まだまだ半人前ではありますが、患者様に少しでも快適に検査を受けて頂けるようこれからも努力していきたいです。

2015年あなたは上着を着ましたか？

検査 鈴木 亜也子



私服ではなく職場の話です。

安藤眼科医院では半袖の制服を着て仕事をしています。カーディガンも支給されますが、私は入社2年弱で3回しか着たことがなく、今年は1回も着ていません。私が上着を着ない一番の理由は、単純に暑いからです。暑いと動く気になれず仕事モードになれない上、院内は常に快適な温度に保たれているので、上着を着ると汗で冷えて体調を崩してしまうのです。また忙しい外来中は、長袖だと動きにくいこともあります。私は、寒さをそれほど感じませんが、周りのスタッフが寒い寒いと言って使い捨てカイロを背中に貼っているのを見ると、体感温度は個人差が大きいなあとしみじみ感じます。

実は我慢して上着を着ていたあなた、2016年は勇気を出して半袖になってみてはいかがですか。真冬の朝の空気は気持ち良いですよ（真冬に半袖、半ズボンの小学生みたいに思われますが・・・。）

2015年の思い出

2月1日	アニュアルレポート発行
3月15日	開院26周年記念遠足 『東京スカイツリーと浅草ビューホテルのランチビュッフェ』の旅 職員50人 家族11人 参加
4月4日	タウンニュース小田原版・足柄版・秦野版 記事掲載
5月29日	消防訓練
6月1日	愛toeye第1号発行
7月10日	松田本院移転決定
8月5日	渡辺文先生外来開始
8月・9月	職員健康診断
8月28日	納涼会『じんりき』 42名参加
9月28日	すつきり号1台増車
9月29日	愛toeye第2号発行
10月1日	松田駐車場移転 松田本院～新駐車場間送迎開始
11月20日	職員インフルエンザ予防接種 小田原銀座クリニック 岡村名誉院長
12月19日	忘年会『ヒルトン小田原 リゾート&スパ 2階 アートルーム』

2015年に行われた手術は2465件（眼）でした。

内眼手術

水晶体再建術	2041	
先進医療マルチ（内数）		117 (5.7%)
自由診療マルチ（内数）		55 (2.7%)
緑内障手術	106	
硝子体手術	39	
合計(a)	2186	

外眼手術

翼状片	57
眼瞼手術	125
霰粒腫	19
PTK	16
結膜形成	10
その他	2
合計(b)	229

屈折矯正手術

ICL	2
LASIK	5
SMILE	38
PRK	1
エンハンス	4
合計(c)	50

硝子体注射

マクジエン	5
ルセンティス	376
アイリーア	116
アバスチン	2
合計	499

手術合計(a+b+c)	2465
-------------	------

ケナコルト後部 テノン嚢内注射	21
--------------------	----

新設器械

- 4月 23日 トーメー社製 前眼部角膜形状解析装置 TMS-5 松田設置
8月 31日 カールツァイス社製 手術顕微鏡 OPMI Lumera700 小田原クリニック設置
カールツァイス社製 IOL マスター 700 小田原クリニック設置

学会・勉強会

- 1月 30日～2月 1日 日本眼科手術学会（京都） 安藤浩 安藤展代 江口 亮
2月 8日 眼科医療従事者講習会①
鈴木智子 高橋京子 坪井明日香 新村瑞希 林由香里
2月 19日 小田原市医師会・足柄上医師会学術講演会
安藤 浩 安藤展代 江口 亮
2月 22日 眼科医療従事者講習会②
2月 23日 横浜市大臨床統計学教室 安藤展代 江口 亮
3月 8日 眼科医療従事者講習会③
3月 22日 アイリーア発売 2周年適応追加記念講演会
4月 10日 SMILE 勉強会 カールツァイス 小澤様
4月 16日～19日 日本眼科学会総会（札幌） 安藤 浩 安藤展代 江口 亮
6月 19日～21日 J SCRSG 学術総会（東京） 安藤 浩 安藤展代 江口 亮 石川 誠子
7月 3日 アゾルガ点眼液勉強会 日本アルコン㈱鈴木様
7月 10日～12日 フォーサム 2015 大阪（大阪） 石川 誠子
7月 13日 高度管理医療機器販売管理者講習 安藤 展代
8月 6日 CAOS21 の会 富山病院（富山県） 江口 亮
8月 28日 医療安全講習会 参天製薬 小川様
9月 5日～9日 ESCRS（スペイン） 安藤展代
10月 3日～4日 硝子体手術講習会 虎ノ門ヒルズフォーラム 安藤 浩
10月 22日～25日 日本臨床眼科学会総会（名古屋） 安藤 浩 江口 亮
10月 22日 安心レーシックネットワーク会議（名古屋） 安藤 浩
11月 3日 ビジョンケアセミナー 2015（東京） 石川 誠子
11月 14日 神奈川県眼科医会 健保懇話会 神奈川県総合医療会館 安藤 浩
加藤 晃仁
11月 17日 社会保険診療懇話会 南足柄市文化会館小ホール 加藤 晃仁
11月 27日 グラナテック点眼液勉強会 興和創薬㈱越川様
12月 4日～6日 日本網膜硝子体学会総会（東京） 安藤 浩 戸野塚 敏恵

学会発表・口演

10月 1日 『Retina Update Seminar』 報徳会館 江口 亮

医師会・眼科医会

- 1月 9日 足柄上医師会新年会 安藤 浩 安藤展代
2月 19日 小田原市医師会・足柄上医師会学術講演会 安藤 浩 安藤展代 江口 亮
3月 13日 足柄上医師会懇親会 安藤展代
3月 28日 神奈川県眼科医会新入会員懇談会 江口 亮
4月 27日 足柄上医師会 学術委員会 安藤展代
県立大井高校 眼科健診 安藤 浩
5月 7日 湘光中学校 眼科健診① 石川暢子
5月 11日 湘光中学校 眼科健診② 石川暢子
寄幼稚園・小学校・中学校 眼科健診 安藤 浩
5月 13日 県立吉田島総合高校 眼科健診 江口 亮
5月 18日 松田小学校 眼科健診 安藤 浩
大井小学校 眼科健診 石川暢子
5月 20日 中村小学校 眼科健診 江口 亮
5月 21日 大井小学校 眼科健診 石川暢子
5月 23日 足柄上医師会 公衆衛生委員会 安藤 浩 江口 亮
5月 25日 松田幼稚園 眼科健診 安藤 浩
大井第二幼稚園 眼科健診 石川暢子
5月 26日 東海大学病診連携世話人会 安藤 浩
5月 27日 中井中学校 眼科健診 江口 亮
6月 3日 県立山北高校 眼科健診 江口 亮
6月 8日 足柄上医師会 理事役員会 安藤展代
松田中学校 眼科健診 安藤 浩
上大井小学校 眼科健診 石川暢子
6月 10日 井ノ口小学校 眼科健診 江口 亮
6月 11日 大井幼稚園 眼科健診 石川暢子
6月 15日 相和幼稚園・小学校 眼科健診 石川暢子
6月 26日 足柄上医師会定時総会 安藤展代
7月 3日 足柄上医師会納涼会 『千代田屋』にて 安藤 浩
7月 7日 足柄上病院との懇親会 『千代田屋』にて 江口 亮
11月 5日 大井町 就学時前健診 石川暢子
11月 10日 松田町 就学時前健診 安藤 浩
11月 13日 福利厚生委員会 足柄上休日診療所 安藤展代
11月 14日 神奈川県眼科医会 健保懇話会 関内 神奈川県総合医療会館
12月 25日 足柄上医師会 理事役員年末懇談会 安藤展代

改裝・修理・点検

- 1月 30日 松田 OCT 修理 カールツァイスメディテック(株)様
- 2月 27日 小田原保健福祉事務所 小田原クリニック立ち入り検査
- 3月 12日 小田原保健福祉事務所 小田原クリニック食堂立ち入り検査
- 2月 9日 手術室オートクレーブ定期点検
- 2月 19日 南足柄クリニック消防設備法令点検
- 2月 20日 小田原クリニック貯水槽 定期点検
- 2月 23日 NAVIS 定期バージョンアップ 松田・小田原・南足柄クリニック
- 3月 14日 松田第2駐車場ロードペイント作業 (有)ケークラフト 香川様
- 3月 27日 ハイデルベルグ OCT クリーニング JFCセールスプラン社
- 4月 1日 VISIX ウェーブスキャン定期点検 AMO 田嶋様
- 4月 16日 小田原クリニック 高圧ケーブル交換工事
(株)創建 加藤健 石川電気管理事務所 石川様
- 5月 18日 防犯カメラ点検 ドットウェル・ビー・エム・エス 矢川様
- 5月 25日 松田 NAVIS サーバー予備ディスク交換作業 NEC フィールディング社
- 5月 28日 松田 火災報知機定期点検 松田電気様
- 6月 8日 小田原クリニック防火設備点検 相 日防災 桐山様
- 6月 13日 小田原クリニック 2階男子トイレ ドアクローザー交換
松田 奥の検査室 水道蛇口交換 (株)創建 加藤様
- 7月 8日 小田原クリニック 2階女子トイレ 手洗い器械交換 (株)創建 加藤様
- 7月 27日 小田原クリニック ひかり電話移行工事 大塚商会 小川様
- 8月 21日 南足柄クリニック消防設備点検
- 8月 27日 小田原クリニック IOLマスター入れ替え ジャメックス 高橋様
- 10月 21日 南足柄クリニック サーバー無停電装置バッテリー交換
- 10月 22日 松田 サーバー無停電装置バッテリー交換
- 10月 22日 小田原クリニック外壁洗浄 友和エンジニアリング 宮屋敷様
- 11月 5日 移転打ち合わせ 移転先にて 安藤 浩 安藤 展代 江口 亮
タカラスペースデザイン 板山様 桐田様 藤岡様
(株)創建 加藤様 加藤健様 井上拓己 木村智嘉 加藤晃仁
- 11月 16日 防犯カメラ定期点検 ドッドウェルビーエムエス矢川様
- 12月 29日 ワックス掛け (有)友和エンジニアリング 宮屋敷様

ひとみすっきり号（無料送迎車）の動き

2015年の利用者は延べ3023人、月平均252人でした。

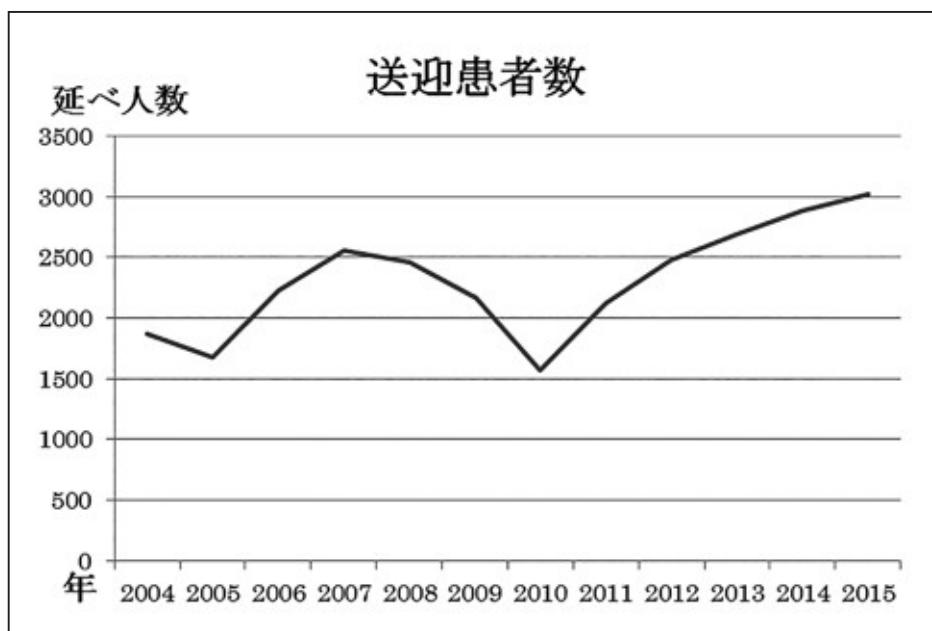
9月28日よりすっきり号1台増車し、松田本院と新駐車場間の送迎を開始しました。

現在すっきり号は4台、ドライバー4名で運行しています。

主な送迎場所

- ・安藤眼科医院（松田）～安藤眼科医院小田原クリニック
- ・足柄上郡松田町寄地区、山北町中川地区・清水地区に定期便を運行
- ・足柄上郡全域と小田原市については手術日と翌日診察についてdoor to doorの運行
- ・新駐車場と安藤眼科医院（松田）

送迎患者数年次推移



～ひとみすっきり号利用の患者様の声～

- ・交通の便が悪いところに住んでいるのですが、家の前までお迎えに来てくださるの でとても助かっています。
- ・手術の日、付添いもなく不安でしたが、玄関までお迎えに来て下さったので安心し て手術を受けられ感謝しています。
- ・時間通りにお迎えに来てくださるので安心して利用させて頂いています。
- ・介護用車両も用意して頂いているので乗降しやすく大変助かります。
- ・優しいドライバーさんで安心して話しやすく、うれしいです。
- ・悪天候でもdoor to doorで送迎してくださり大変感謝しています。
- ・いつも安全運転で乗せて下さるので安心して利用させていただいています。

2015年皆勤賞 無遅刻・無欠勤・無早退の方々です。拍手！

金田 浩子 甲斐 智美 加藤 明子 野地 真弓 鈴木 智子 野崎 友希
高橋 京子 山川久美子 香川奈美子 関 麻子 齊藤 明奈 面高美和子
新村 瑞希 関野 芙美 鈴木 萌

入職者 がんばって下さい。

成瀬 弘紀さん (臨床検査技師)	2015年3月2日入職
笥原 諒平さん (視能訓練士)	2015年4月1日入職
生水 里美さん (事務)	2015年4月1日入職
鈴木 康一さん (ドライバー)	2015年9月28日入職
露木 ちかさん (看護師)	2015年11月9日入職

2015年は退職者はありませんでした、よかったです…

スタッフ

常 勤 医 : 安藤 浩	安藤 展代	江口 亮	石川 暢子	戸野塙敏恵
看 護 師 : 井上 拓己	金田 浩子	甲斐 智美	榎本 和美	松山さやか
	藤田 孝枝	香川奈美子	久野 妙子	鹿島 瞳
	丹野 美幸			加藤 知佳
臨床検査技師 : 木村 智嘉	木村 舞	須貝 剛	十文字 恵	新村 瑞希
	林 由香里	成瀬 弘紀		
視能訓練士 : 笥原 涼平				
検查看護補助 : 鈴木 智子	高橋 京子	藤本 景子	山川久美子	岡田真由子
	坪井明日香	玉木 由佳	鈴木 亜也子	鈴木 萌
事 务 : 加藤 晃仁	小寺 弥生	加藤 明子	野地 真弓	野崎 友希
	飯山百合子	近藤 里奈	波多野麻里亜	宮下千加子
	関 絵理子	鈴木 雅美	矢口 弥生	山村 明子
	齋藤 明奈	中村久美子	面高美和子	荻野 孔美
	原 祥子	木村芽久未	廣井みさと	関野 芙美
	熊本 靖代	生水 里美		高田 里沙
ドライバー : 田辺 勝美	中込 信治	岩本 信治	鈴木 康一	
研 修 中 : 露木 ちか				

滑り台保存活動の記録　ー新クリニック設計外伝ー

安藤 浩 おまけの文章

今年6月に安藤眼科院の松田クリニックは、200mほど南へ移転し拡大する予定です。この建物は、3年前まで保育園だった建物で、園児用の広い庭、庭の大きな木、平らな床面、列を作った園児が歩くための広い階段と、建物はそこかしこに、遊びのある暖かな特徴を残しています。

そして、作り付けの立派な白い滑り台が、2階から地上へと伸びています。私から見て、建物の魅力を倍増させる滑り台です。なぜならば、私が滑りたいから。そして私は楽しいから。しかし、眼科医院にとっては必要のない構造物です。そして、私の個人的な滑り台保存活動が開始されました。

第1回戦は楽勝でした。滑り台は当然撤去対象だと、デザイン設計事務所が考えていることを察知した私は、開口一番「滑り台を残します」と宣言したのです。施工主のたっての願いです。そして、滑り台の外に壁を作るデザイン案が、デザイン事務所から提案されました。第1回戦終了です。しかし程なく、コストの問題から、壁を独立して作る解決案は実施不能になったのでした。

再び外壁に現れた滑り台をめぐって、第2回戦は頭脳戦になりました。壁と同色の塗装をするカメレオン作戦が提案されます。しかし、どれだけ保護色にしようともクリニックに異物が付着している感覚がぬぐえません。ならば、目立たせてしまおうと、私は考えました。「色は白。滑り台は有って当然なオブジェとして扱います。もと保育園のエピソードを知る町の人ならば、好感をもって見てくれるはず。」と私は発想の転換を主張したのです。デザイン事務所の人々が、斬新なアイディアに困惑している姿が痛々しいのですが、心を鬼にして第2回戦を乗り切りました。

最終決戦の相手は、やはり身内、安藤眼科医院の職員になりました。「滑り台撤去で他工事が簡素化するので撤去コストはゼロです。」「院長の希望で付けた南西通用扉に、滑り台の台座がひっかかります。」「滑り台がないほうがクリニックとしての統一感が優れます。」すべて正論です。しかし、ここで私が引けば、滑り台は消滅します。「正確無比な医療を提供したとしても、保育園の滑り台一つ残せない、遊びのないクリニックに魅力はあるだろうか。クリニックに訪れる地域の人々が、壁面の滑り台を見て、ふと面白い想像を広げ一瞬笑ってしまう。そういえば昔保育園だったことを思い出して微笑む。そんなクリニックは、魅力的なのではないか。」そう言って、苦しくも最終決戦を乗り切ったのでした。そんな遊びがあって、ふと微笑んでしまうクリニックを好むのは、きわめて私個人の趣味であることは、もちろん言葉の綾の中に織り込まれた秘密です。

今年6月に、とても美しいクリニックが出来上がります。そして美しい建物正面を少し回り込むと、アプリコット色の壁面に白い滑り台が、ちょっとこりと付いています（もう一度巻頭の完成予想図を見てください）。私の全力の保存活動により残された楽しい滑り台です。デザイン事務所桐田さんは、滑り台さえも、美観の中に取り込んでくれました。楽しい保育園の記憶が、眼科医院の穏やかなゆとりへと生まれ変わっています。誰かがふと笑ってくれるだろうか。私は毎日滑り台を見てほくそ笑む予定なのでした。

2016年1月26日